

記載例(その他の事業の実施なし)

初年度は「成立の日から」と翌年度以降は「△年△月△日から」と記載します。

△年度 活動予算書

△年△月△日から○年○月○日まで

特定非営利活動法人○○○○

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	150,000		
賛助会員受取会費	15,000	165,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	100,000	100,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	50,000	50,000	
4. 事業収益			
○○事業収益	50,000	50,000	
5. その他収益			
受取利息	100		
雑収益	1,500	1,600	
経常収益計			(a) 366,600
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	50,000		
給料手当	150,000		
法定福利費	5,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	205,000		
(2) その他経費			
会議費	3,000		
旅費交通費	15,000		
減価償却費	0		
支払利息	0		
その他経費計	18,000		
事業費計		223,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	100,000		
給料手当	0		
法定福利費	10,000		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計	110,000		
(2) その他経費			
会議費	0		
旅費交通費	5,000		
減価償却費	0		
支払利息	0		
その他経費計	5,000		
管理費計		115,000	
経常費用計			(b) 338,000
当期経常増減額			(c) 28,600
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0		
経常外収益計		0	(a)-(b)
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	0		
経常外費用計		0	(c)+(d)
当期正味財産増減額			(d) 0
設立時正味財産額			(e) 28,600
次期繰越正味財産額			(f) 50,000
			(e)+(f) 78,600

真ん中の列には各科目の中計を記載します。

人件費とその他経費に分け、支出の形態別に内訳を記載します。

次期事業年度活動予算書の「前期繰越正味財産額」と金額が一致することを確認します。

※ 当該年度はその他の事業の実施を予定していません。

定款で「その他の事業」を掲げていない法人はこの脚注は不要です。